



解離様性状を伴う大動脈分岐部から 両側総腸骨動脈への閉塞性病変

チャレンジポイント

解離様、拡張様性状を伴う大動脈分岐部-両側 CIA 狭窄病変に対して、キッキングステントで大動脈分岐部を再建できるか、また、開存する右内腸骨動脈を温存できるかを念頭において治療した。

患者背景・病変背景

- 年齢：90歳代、性別：男性
- TASC II A
- 両肢Rutherford3、高度跛行（跛行出現距離：42 m）
- 対象病変：大動脈分岐部-両側 CIA
- リスク因子：高血圧、糖尿病、末期腎不全、過去の喫煙歴、右CLIの既往

治療戦略、治療内容

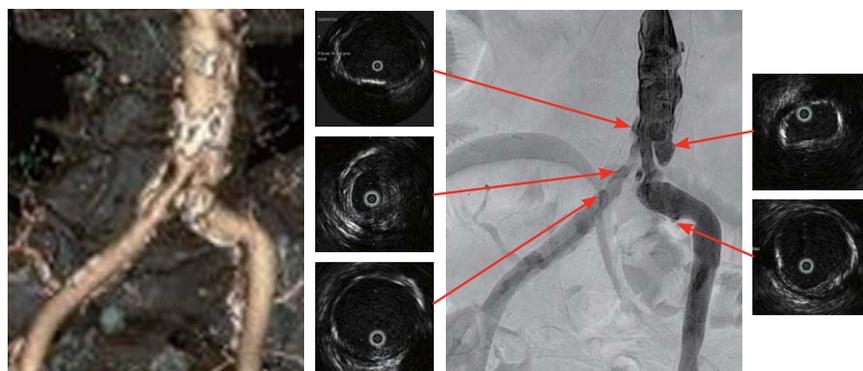
左橈骨動脈から5 Frシース+Pigtailカテーテルを腹部大動脈に進め、少量の造影剤+CO2造影補助下にEVT。両側CFAから7 Frシース挿入。両鼠径より0.014 inchガイドワイヤーを逆行性に通過させIVUSで確認。0.035 inchガイドワイヤーに変更し、VBXステントグラフト（8×59 mm）2本を前拡張なしにダイレクトにキッキングステント。IVUSで左CIAステント遠位のみmalappositionを認めたため、同部のみ高圧バルーンで後拡張を施行。IVUS・造影で良好な拡張と、右内腸骨動脈の開存および目立つようなキッキングステントの浮きがないことを確認して終了した。

VBXステントグラフト選択理由

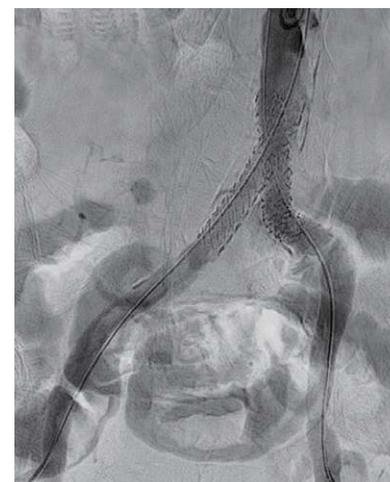
CIA入口部において十分な拡張が得られるのはバルーン拡張型デバイスであり、また、このような解離様性状を伴う大動脈分岐部病変にはカバードステントであるVBXステントグラフトが血管破裂リスクの低減や良好な血行動態の改善に寄与すると考えた。



佐々木 伸也 先生
坂総合病院



術前 CTA・造影・IVUS
術前 ABI：0.71/0.58



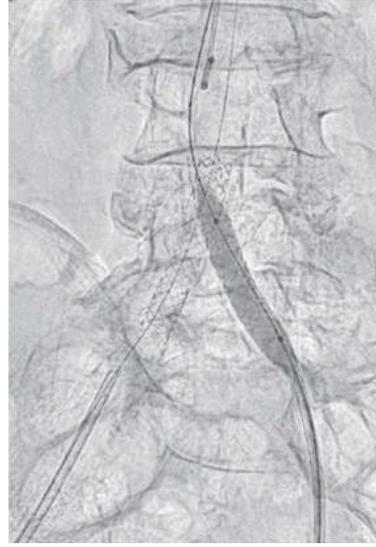
術後造影
術後 ABI：0.83/0.70（両側 SFA に狭窄病変あり）

使用デバイス

- シース : (左橈骨) 5 Fr 11 cm、(左右鼠径) 7 Fr 25 cm × 2本
- ガイドワイヤー : (右) 0.014 inch 235 cm → 0.035 inch 200 cm
(左) 0.014 inch 250 cm → 0.035 inch 150 cm
- 前拡張バルーン : なし
- スtent : VBX スtentグラフト 径8.0/長59 mm × 2本
- 後拡張バルーン : 径10.0/長40 mm (高圧バルーン)
- その他 : IVUS



VBX スtentグラフト (8 × 59 mm) による
キッキングstent



左 CIA 末梢に対する 10 mm 径バルーンによる
後拡張

コメント

当院では、nitinol stent 留置後遠隔期に stent がクラッシュして再狭窄をきたし、再治療を要した症例を 2 例経験しているため、両側 CIA 入口部病変は、十分な radial force をもつ scaffold を要することが多い。また、本症例では、狭窄前後に解離様、拡張様性状を伴っており、VBX スtentグラフトでカバーされることによって血管破裂のリスク低減や、遠隔期においても良好な血行動態の改善が期待された。本

症例ではさらに、右の内腸骨動脈が開存しており、これをいかに開存させつつ手技を完遂させるかを考慮した。VBX スtentグラフト留置後は良好な造影所見が得られ、内腸骨動脈も温存できた。本症例は、両 SFA に残存病変があり、ABI の回復は十分とはいえなかったが、6 分間歩行テストにて両下肢の跛行の改善が確認されたため、本治療のみで退院とした。

販売名: ゴア® バイアバーン® VBX バルーン拡張型stentグラフト 承認番号: 22900BZX00309000

この資料は医療関係者の方向けです、それ以外の方への再配布はご遠慮ください。製品のご使用前には必ず電子化された添付文書をお読みください。

本稿に記載した転帰および所見は、個々の症例経験および治療患者に基づくものです。本稿には添付文書に示された手順のすべてが記載されていない場合があり、本稿は添付文書、または医療提供者の教育、訓練、専門的な判断の代替となるものではありません。患者管理および医療技術の利用に関する意思決定は、すべて医療提供者の責任において行われるものとなります。

ゴア、GORE、Together, improving life、バイアバーン、ブイビーエックス、VBX、VIABAHN および記載のデザイン (ロゴ) は、W. L. Gore & Associates の商標です。
© 2022 W. L. Gore & Associates, Inc. / 日本ゴア合同会社 22619106-JA JUNE 2022

製造元 W. L. Gore & Associates, Inc.

製造販売元 **日本ゴア合同会社**
メディカル・プロダクツ・ディビジョン

〒108-0075 東京都港区港南 1-8-15 Wビル
T 03 6746 2560 F 03 6746 2561 gore.co.jp

